

私と公民館

公民館を地域の皆さんがつどい、学び、交流し、つながる場になりたい。一人でも多くの人に公民館に来てもらい、力を合わせて私たちのまちを住み良くしたい。

では公民館で活動している方は、どのようにして公民館と出会い、活動の中でどんなことを感じているのでしょうか。今回は市内3館の公民館で団体の代表、運営委員として活動する方々に思いをお聞きしました。

本館・三浦明日香さん

公民館との出会いは平成23年度の講座「暮らしを整理してスッキリ子育て」。現在は、「生活スッキリ隊」代表



保育サークル「サークルあじさい」のメンバーとして公民館ライフを楽しんでいます。
 (写真中央奥が三浦さん)

「最初は自分が何か学びたいというよりも一人娘の紅葉(くれは)に他のお子さんや大人の人の関わりを持たせたいという思いから

託児保育付講座に参加しました。その後、保育サークルに参加して1年半ほどしてから、サークル「生活スッキリ隊」を立ち上げました。メンバーのママ友から人の輪が広がり、娘もいろいろな人との関わりで、挨拶が身に付くなど、いい影響を受けています。

活動の中でも、メンバー募集など自分が動けば動くほどおもしろくなってきました。福生は過ごしやすく、より好きになりました。娘の成長につれ、講座に参加する機会も増えてくると思います。シニア世代の方も本当にお元気で、私も様々な形で公民館と接し続けていきたいと思っています。」

松林分館・渡部綾子さん

利用者交流会の副会長として大



活躍。「だれでもなんでも展」にも育児サークル「おもちゃ箱」で展示に参加します。
 (写真中央右寄りの書類を手しているのが渡部さん)

「私と公民館の出会いには長男が2歳になったばかりの頃、先輩ママから誘われた保育室併設講座でした。

それまで、公民館はお年寄りが集う場所、などと勝手に思っていたので、『子どもを預けて勉強もできるなんてー』と驚いたものです。

しかし、これがきっかけでたくさんの人と出会い、色々な講座イベントにも参加しました。

そして次男が生まれてからは公民館で活動する育児サークル『おもちゃ箱』にも所属するようになり段々と生活の一部となっていました。気がします。

あれから丸8年、現在もサークルに所属したくさんの方々と関わって楽しく活動しています。」

白梅分館・野島 延江さん

「13年前、私の家のお友達が通りかかりました。『ここにお出かけ。』と声をかけたのがきっかけ。』と声をかけたのがきっかけで、コール白梅の一員となり、今日にいたります。

公民館に通いはじめて、毎日がとても楽しくなりました。白梅分館での行事にも参加するようになり、二か月に一度のサークルの方々の交流会にも出席するようになり、利用者交流会の運営委員となりました。

白梅分館の一番大きな行事は、毎年春の「白梅まつり」です。利用者全体の発表会や模擬店など、とても賑やかな楽しい催しです。運営委員となつてからは準備などの大変さが改めて分かりました。

また、どうしたら公民館に多くの人たちが足を運んでくださるかを考えるようになりました。

コーラスを楽しみながら、運営委員の一人として、活気のある日々を送っております。」

